

鳥海研究室

道路の機能をデザインする

人間・社会系部門

ハーモニック・モビリティ研究センター、都市街路スマート・モビリティ学社会連携研究部門



道路機能設計学

<http://www.transport.iis.u-tokyo.ac.jp/>

安全・快適を実現する「自ら語る みち」のデザイン

Designing Self-explaining Roads for Safety and Comfort

みち（道路や街路）では、歩行者、自転車、自動車、バス、トラックなど、速さや大きさ、行きたい方向の異なる様々な利用者が空間を分け合いながら移動しています。利用者それぞれに、他者のために自身の動きを制限しなければならない場面があります。「**自ら語るみち**」とは、**その構造や交通運用によって注意すべき対象や望ましい挙動を理解できる道路や街路のことです**。そこでは、人々が自然に行った振る舞いがみんなの安全や快適に繋がります。

何を語るらせる？

道路・街路ネットワーク計画論

多様な利用者ニーズを満たすためには、1本1本のみちで優先する機能を明確にしつつ全体でバランスをとる必要があります。このようなみちの機能の定め方を検討します。



どこで語るらせる？

交通安全文化

人々のみちでの振る舞いは、みちの構造や運用だけでなく、法制度や取締り、運転免許制度、交通安全教育、歴史や経済状況、文化、風土などにも影響を受けています。異なる地域の比較を通じて、このような「交通安全文化」の理解に努めています。

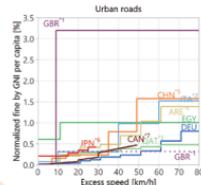
項目	自動車に対する交通機能	歩行者	自転車に対する交通機能
A	自動車優先	歩行者優先	自転車優先
B	自動車優先	歩行者優先	自転車優先
C	自動車優先	歩行者優先	自転車優先
D	自動車優先	歩行者優先	自転車優先
E	自動車優先	歩行者優先	自転車優先
F	自動車優先	歩行者優先	自転車優先



どう語るらせる？

道路・街路設計と交通運用のための利用者挙動観測と解析

人々はどうのようなみちでどのように振る舞うのか理解することで、望ましい挙動を促すみちの構造や運用を検討します。



速度超過に対する罰金の9か国間比較



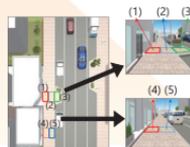
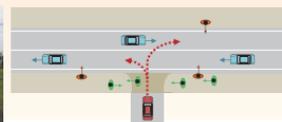
歩車を考慮した階層街路網計画



バレルアウト横断歩道の効果検証実験



沿道出入車両と歩行者の相互干渉評価



立ち止まり空間の評価

